

後輩へのメッセージ I

吉田 英俊

平成 20 年卒業予定の吉田英俊です。
後輩へのメッセージということで、就職面接で気をつけた方がいいと思う点について自分の見解を述べたいと思います。面接で好印象を与えるために重要なことは、

- ①大きな声ではきはき喋ること
- ②表情を暗くしないこと
- ③自分を持ちすぎないことだと思いました。

①は基本的なことやってるつもりになりがちですが、意外と出来てない人を多く見かけました。体育会系くらいのノリの方がうけるかもしれません。あと、難しい質問を聞かれて答えがまとまらないときも、きはきは大きな声で返答すると、感じが良いです。

②は返答するときに無表情でいるより軽い笑顔を入れた方が、より良い印象を与えられるということです。

③は賛否両論別れると思いますが、あくまで自分らしさを出しすぎないということです。自分らしさも行き過ぎると頭が固い人間になります。あくまで面接はコミュニケーションの場であることを忘れないで下さい。

以上の3点が私の見解です。その他の事は本に載ってるんで勉強して下さい。
早い段階で面接を練習代わりに受けるのもいいと思います。(一回目は緊張しやすいです!) 会社を選ばれるより選ぶつもりで面接に望み、内定後の自由なキャンパスライフを過ごせるといいですね。

大山 舞子

3年生へ

これから就活を迎える3年生。就活は自分を見つめ直し、大きく成長できるとても重要なイベントです。今まで自分が何をしてきたか、どんなことに喜びを感じるのか、どんな困難を乗り越え成長してきたのか、どんな環境が自分には合うのか、とことん自分に向き合っていくことが大切です。自分をしっかりと自覚し、芯を持って就活に臨んでください。不安なことも多いでしょうが、自信を持ち、就活を楽しむことが必勝法だと思います。

就活を終える頃に、卒論というイベントが待っています。とにかく早め早めにやることをお勧めします。私の場合は、卒論に費やす!という期間を決めて一ヶ月くらい前には骨組みを完成させてしまいました。細かい間違いを直すのに思ったより時間がかかるので、できるだけ早めに完成させ、何度も先生に見直してもらったほうがいいと思います。

最後に、これから「大変」だと思えることが沢山待ち受けているでしょうが、自分が「大きく変わる」チャンスだと思って頑張ってください。

柵 高浩

どうも!!柵(さく)と申します。僕は皆さんにアドバイスできるような人間ではないような気が

しますが...就職活動・卒論について簡単に書きたいと思います。まず、人にはそれぞれ様々な考え方があると思います。ここで書くことは、あくまでも僕個人の考え方なので、あくまでも参考に...

最初に就職活動についてですが、「最後まで諦めない」、「企業に自分が入社したいという熱意を伝える」の二点だと思います。

「最後まで諦めない」ことについてですが、僕は4年生の11月まで約1年間就職活動をして、最後には夢を叶えることができたからです。

二つ目の「企業に自分が入社したいという熱意を伝える」ことは、今流行の自己分析(自分を知る)、業界研究などの、企業に自分の気持ちを伝えるための手段を研くことではないでしょうか。また、将来やりたいことを見つけることでもあります。やりたいことがあってもなくても、最初はとにかく多くの企業をまわって話を聞いてください。やりたいことがある人は視野が広くなり、やりたいことがない人は何か見つかるはず。将来のことだし、面倒だから...とかはナシで時間を惜しまずに!!多くの人と話すことで自分の考え方が分かってくるはずですし、自分を知ることにもなります。

卒論についてですが、僕はテーマ設定が大事だと思います。要するに目的です。どんな問題意識を持っていて、何を調査・研究するのか。参考文献、論文、新聞記事など、情報をとにかく集めることだと思います。テーマ設定さえしっかりしていれば、あとの細かいことは藤井先生がいるし大丈夫です(笑)。周りの友達が就職活動を終え、誘惑が多い時期だとは思いますが、「提出期限3日前から寝てない」というのでは、はっきり言って意味ないです。一週間前には最終チェックを!!

そんなこんなで、現在(2007年12月時点で)の最終学歴が中卒の僕でも来春から地元の新聞社で地元のために働きます。残りの学生生活を悔いのないように思い出のいっぱい詰まった内容の濃いものにしてください。皆さんが、就職活動・卒論を終えて藤井先生と一緒にウマイ酒を飲めることを祈っています!!

知念 辰弥

藤井ゼミ所属の皆さんへ

自分が経験して思ったことを伝えようと思います。

就職活動は、なんだかんだ言っても卒業後の自分のための活動だと思います。

企業が学生を選ぶと同時に、学生は企業を選ぶ権利があるので、しっかり選んで後悔のないようにしてほしいです。

まずは説明会に参加して、企業や業界を知ることが大切だと思います。あまり就活アドバイザーの話とかにとらわれなくて、自分自身が思うままに活動したほうがいいです。

卒論に関しても、取りかかることが大切です。資料集めも実際に書くことも、とにかく時間がかかります。就活が終わって一息ついて卒論を書き始めると、バタバタすることなく提出できます。

就活も卒論も頑張りすぎず、かつ、力抜きすぎずぐらいで!!

就職活動

田之上 侑司

はじめにすることは、自分がどんな仕事をしたいか明確にすることです。そして早めに動くことです。自分は遅かったのですが、周りが内定の話をしているとかなり焦るので早めに動いたほうがいいと思います。

就職試験では筆記も大事ですが、面接のほうに力を入れたほうがいいです。面接は学校でやってい

る面接対策などで相当練習していったほうが良いと思います。自分が思っている以上に突っ込まれたりすると頭が真っ白になるので、あまり興味がない企業でも面接の練習として受けてみるのもいいです。

個人面接では、ハキハキと面接官の目を見ながら答えれば良いと思います。グループディスカッションは、でしゃばり過ぎない程度に発言するのをオススメします。あと話している人を見てフンフンとうなずいているのが良いと思います。ほとんどの人が話していることを書くので精一杯になって下を向いているので、結構アピールになると思います。他の人が話したことを忘れてしまっても、隣の人の紙を見れば詳しく書いてあるのでこっそり見れば大丈夫です。

そして最後まで諦めずに頑張ればなんとかなったりするので頑張ってください。